

科目コード	N209
授業科目名	リハビリテーション医学概論
授業科目名(英文)	Introduction to Rehabilitation Medicine
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学年	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	佐伯 覚
授業の概要	リハビリテーション医学・医療の概要とリハビリテーション看護の重要性を理解する。多職種で実践するリハビリテーションチームアプローチにおける看護師の役割を理解し、各種障害に対するリハビリテーション看護の方法を学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. リハビリテーション看護対象者の障害とその特徴を列記することができる。 2. リハビリテーション課題や評価・訓練を理解することができる。 3. 日常生活動作の介助と自立への看護指導を実践することができる。 4. 多職種によるリハビリテーションチームアプローチを理解することができる。 5. 頻度の高い疾患による障害に対して、根拠に基づいた看護援助を実践することができる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	参加の姿勢(20%)、筆記試験(80%)で60点以上を合格とする。
教科書	酒井郁子、金城利雄、深堀浩樹 編「リハビリテーション看護」改訂第3版 2020年(南江堂) ISBN 978-4-524-24629-8
参考書	
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R4.10.4	火	Ⅲ	リハビリテーション医学概論	講義	佐伯 寛	1	
				予習 教科書(2-6, 22-29, 32-48, 68-70頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
2	R4.10.11	火	Ⅲ	リハビリテーション課題と評価・訓練	講義	森山 利幸	1	
				予習 教科書(50-66, 116-128頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
3	R4.10.18	火	Ⅲ	日常生活自立への援助技術	講義	徳永 美月	1	
				予習 教科書(99-113, 129-153頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
4	R4.10.25	火	Ⅲ	脳卒中急性期・回復期の看護	講義	蜂須賀 明子	1	
				予習 教科書(156-172, 182-204頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
5	R4.11.8	火	Ⅲ	摂食・嚥下障害の看護	講義	松嶋 康之	1	
				予習 教科書(260-275頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
6	R4.11.15	火	Ⅲ	高次脳機能障害と看護	講義	岡崎 哲也	2	
				予習 教科書(205-225頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
7	R4.11.22	火	Ⅲ	脳卒中維持期の看護と地域リハビリテ ーション	講義	伊藤 英明	1	
				予習 教科書(173-180, 336-351頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				
8	R4.11.29	火	Ⅲ	脊髄損傷・変形性関節症・切断の看護	講義	越智 光宏	1	
				予習 教科書(226-259頁)を読 んでおくこと。				
				復習 講義内容の復習。				